

外国語科学習指導案

1. 日 時 令和6年12月4日(水) 第5校時(13:45-14:30)

2. 学 年 第6学年

3. 単 元 NEW HORIZON Elementary English Course 6
Unit 6 Save the animals.

4. 単元について

(1) 児童観

本学級の児童には、外国語専科として、週に2単位時間、外国語科の授業のみの関わりで、児童との人間関係を築くことから始まった。全体的に落ち着いた雰囲気得意的に取り組む児童が多い。Starting Out や Let's Listen などの活動においては、話の内容を推測しながら聞こうとする姿が見られる。

一方、自分の考えや気持ちを話す活動においては、自信が持てずに声が小さくなる児童や相手に伝える意識を持って話すことが苦手な児童が多い。また、原稿を用意することなく、メモ等を見ながらの発表は難しい。これまでのやり取りや発表の活動では、基本表現での発言にとどまり、既習事項を用いて会話等を膨らませることはできていない。

(2) 教材観

本単元では、「生き物が直面する問題と身近でできること」をテーマとして扱う。

単元の導入では、プラスチックごみを誤食してしまうウミガメや、森林伐採や狩猟が原因で危機に瀕しているトラについて登場人物が話し合う場面が設定されている。そして、生き物が暮らす場所や、抱えている問題、身近でできることについてたずね合うなどの活動を経て、「生き物が直面する問題と身近でできることを発表し合う」活動をゴールとする単元構成となっている。

また、本単元では、活動を通して、“Let's save the~.” “Where do~live?” “~ live in ….” “~ is a big problem.” “ We can ~.” 等の表現に触れ、徐々に慣れ親しみ、定着を図ることをねらいとしている。環境問題という題材の特性上、児童の日本語での思考と実際に使用できる英語表現には、大きなギャップが生じることが予想されるが、これらの表現を繰り返し用いることで、児童のアウトプットにつなげていけるよう構成されている。

(3) 指導観

「生き物が直面する問題と身近でできることを発表し合う」という単元のゴールに向け、生き物が暮らす場所や直面する問題、自分たちが身近でできることについて、自分の考えや思いを整理し、話すことができるよう、基本的な表現に繰り返し触れさせることを意識しながら授業を展開する。

単元の導入である Starting Out では、映像や音声を通じて、世界が抱える環境問題などについてのやりとりの概要を捉えさせるとともに、繰り返し出てくる基本的な表現に着目させる。Starting Out に続く Your Turn では、聞く活動ややり取りの活動を通じて基本表現を実際に使ってみることで学習内容の定着を図る。言語活動を繰り返すことで、児童自身の言葉として少しずつ発話できるようにする。また、

音声で十分に慣れ親しんだ英文を読んだり、例文を参考に書いたりする活動にも取り組ませる。

そして、**Enjoy Communication** では、これまで学んだ表現を用いて「生き物のことや身近でできることを発表し合う」という活動に取り組ませる。モデル映像の視聴により活動のイメージをもたせ、発表に必要な単語や表現を確認しながら考えや気持ちを整理し、メモやカードを作成させる。発表の際は、完全な原稿を用意することなく、カードに書いたキーワードを参考に自分の考えを伝えられるように指導する。

なお、生き物が直面する問題や身近でできることを考えるにあたっては、他教科等で学んできたことや日常生活での経験を想起させる。児童が本単元のテーマを自分事として捉え、考えたことを伝え合うことの意義を感じられるように支援していく。

5. 小中連携

美浜町内2校の小学校卒業生のほとんどが、町内唯一の中学校である松洋中学校に進学する。町内小中学校では、教員が他校の授業を参観する相互参観や中学校教員が小学校6年生を対象に実施する出前授業、児童生徒の状況や取組等について協議する小中連携推進委員会の開催など小中連携に取り組んでいるが、英語・外国語指導に特化した取組は十分にできているとは言えない。

中学校では、早い段階から英語に対する苦手意識を持ち、学習意欲が持続しない生徒が増加していることが課題となっている。

また、本単元で扱う「話すこと [発表]」と関わって、中学校においても原稿を用意することなく、メモ等を見ながら発表することを苦手とする生徒が多い。これは小中共通の課題であり、小学校段階から量や内容を調整しながら継続して取り組む必要があると捉えている。

なお、本単元で扱う題材と関連して、中学校では、1年 Unit 9 において「Think Globally, Act Locally (国際支援, 水問題)」, 2年 Let's Read 3 において「Pictures and Our Beautiful Planet (星野道夫さんの人生, アラスカの環境問題)」, 3年 Unit 3 において「Animals on the Red List (絶滅のおそれのある動物たち)」を取り扱う。

6. 単元目標

自分が守りたい生き物のことを、ALT や友達に知ってもらうために、生き物が暮らす場所や直面する問題、自分たちが身近でできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話すことができる。

※なお、本単元における「聞くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

7. 関係する学習指導要領における領域別目標

・話すこと [発表]

ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

8. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔発表〕	<p>知：“Let's save～.” “Where do～ live?” “～ live in ….” “～ is a big problem.” “We can～.” およびその関連語句について理解している。</p> <p>技：生き物が暮らす場所と直面する問題、自分たちが身近でできることについて，“Let's save～.” “Where do～ live?” “～ live in ….” “～ is a big problem.” “We can～.” およびその関連語句を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。</p>	<p>自分が守りたい生き物のことを、ALT や友達に知ってもらうために、生き物が暮らす場所や直面する問題、自分たちが身近でできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。</p>	<p>自分が守りたい生き物のことを、ALT や友達に知ってもらうために、生き物が暮らす場所や直面する問題、自分たちが身近でできることについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。</p>

9. 話すこと〔発表〕に係る評価の判断基準（採点基準）

	A（十分満足できる）	B（おおむね満足できる）	C
知・技	<p>“Let's save～.” “～ live in ….” “～ is a big problem.” “We can～.” などの目標表現を正確に用いて発表している。</p>	<p>“Let's save～.” “～ live in ….” “～ is a big problem.” “We can～.” などの目標表現を概ね正しく用いて発表している。</p>	<p>B 基準を満たしていない。</p>

思・判・表	<p>自分が守りたい生き物のことを, ALT や友達に知ってもらうために, 生き物が暮らす場所や直面する問題, 自分たちが身近でできることについて, 相手を巻き込む工夫をしたり, 既習表現を用いて自分の考えをより詳しくしたりしながら, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, 話している。</p> <p>B 基準に加え</p> <p>Look at this picture. What can we do for the sea turtles? Where do sea turtles live? What do sea turtles eat? Sea turtles eat jelly fish. We can reuse plastic bags, too.</p>	<p>自分が守りたい生き物のことを, ALT や友達に知ってもらうために, 生き物が暮らす場所や直面する問題, 自分たちが身近でできることについて, 簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話している。</p> <p>Let's save the sea turtles. Sea turtles live in the sea. Plastic is a big problem. We can use eco-friendly bags.</p>	B 基準を満たしていない。
主体	<p>自分が守りたい生き物のことを, ALT や友達に知ってもらうために, 生き物が暮らす場所や直面する問題, 自分たちが身近でできることについて, 相手を巻き込む工夫をしたり, 既習表現を用いて自分の考えをより詳しくしたりしながら, 簡単な語句や基本的な表現を用いて, 話そうとしている。</p>	<p>自分が守りたい生き物のことを, ALT や友達に知ってもらうために, 生き物が暮らす場所や直面する問題, 自分たちが身近でできることについて, 簡単な語句や基本的な表現を用いて考えや気持ちなどを話そうとしている。</p>	B 基準を満たしていない。

10. 言語材料

Let's save the~, Where do ~ live?, ~ live in ..., ~ is a big problem., We can ~., I have an idea., Nice idea.など

11. 指導計画 (全8時間)

時	目標 (■) と主な活動 (△)	知	思	態	評価規準 (方法)
1	■世界が抱える環境問題などについてのやり取りを捉えることができる。				

	<p>Starting Out(p.60-61) My Picture Dictionary(p.16-17)</p> <p>△登場人物たちの学校や家庭などでの会話の音声や映像から、世界が抱える環境問題などについてのやり取りの概要を捉え、単元のテーマやねらいを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Sing (We all live together.) ・ Small Talk (What animal do you like?) ・ Listen and Think ・ Let's Chant(Let's save the animals!) My Picture Dictionary の自然 (p.16) と海の生き物 (p.17) を確認する。 	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
2	<p>■世界が抱える環境問題などについてのやり取りの表現に慣れ、ゴール活動への見通しを持つことができる。</p> <p>Starting Out(p.60-61) My Picture Dictionary(p.16-17)</p> <p>△映像を見たり学習表現を使ったりして、世界が抱える環境問題に関する語彙や表現に親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Sounds and Letters(ch, sh の音) ・ Let's Chant(Let's save the animals!) My Picture Dictionary の自然 (p.16) と海の生き物 (p.17) を確認する。 ・ Listen and Think <p>△ソフィアのお父さんの話をもとに、自分が伝えたいこと(守りたい生き物)を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Watch and Think ・ Let's Read and Write 	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
3 (本時)	<p>■生き物が暮らす場所について、友達とたずね合うことができる。</p> <p>Your Turn(p.62) My Picture Dictionary(p.16-17)</p> <p>△生き物の暮らす場所と抱えている問題を聞き取ったり、生き物の暮らす場所をたずね合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Watch ・ Let's Listen ・ Let's Chant (Let's save the animals!) ・ Let's Try 選んだ生き物の暮らす場所をたずね合う。 	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
4	<p>■生き物のためにできることについて読んだり、生き物が暮らす場所や抱えている問題について例文を参考に書いたりすることができる。</p> <p>Your Turn(p.63) My Picture Dictionary(p.16-17)</p>	

	<p>△生き物を救うことを呼びかけるポスターを読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Sounds and Letters(th の音①②) ・ Small Talk (What do penguins eat?) ・ Let's Chant(Let's save the animals!) ・ Let's Read <p>△例文を参考に、生き物の暮らす場所と抱えている問題を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Read and Write 				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
5	<p>■守りたい生き物や身近でできることについて、表現を振り返ったり情報を整理したりして、発表の内容を考えることができる。</p> <p>Enjoy Communication(p.64) My Picture Dictionary(p.16-17)</p> <p>△ブライアンの発表を聞いたり読んだりして、学習表現を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk (Where do lions live?) ・ Step1 (ブライアンの発表) ・ Let's Chant(Let's save the animals!) <p>△ゴール活動に向けて、情報を整理しながら「わたしたちができることカード」を作り、発表の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Step2 				<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
6	<p>■自分が守りたい生き物のことを、ALT や友達に知ってもらうために、生き物が直面する問題と身近でできることを発表し合うことができる。</p> <p>Enjoy Communication(p.65) My Picture Dictionary(p.16-17)</p> <p>△学習した語彙や表現を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Sounds and Letters(wh の音, Review⑧) <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant(Let's save the animals!) △「わたしたちができることカード」を使って、生き物が直面する問題と身近でできることを発表するゴール活動を行う。 ・ Your Goal 	話 発 表	話 発 表	話 発 表	<p>「8. 単元の評価規 準」参照 (行動観察・振り返り シート記述点検)</p>

7	<p>■映像や音声を手がかりにして，世界の生き物と日本の関係について考え，世界の生き物が抱えている問題に対する理解を深めることができる。</p> <p>Over the Horizon(p.66)</p> <p>△ボルネオ島と日本の関係についての映像などを見て，キーワードを聞き取って書いたり，考えたことを伝え合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Sing (We all live together.) ・ Sounds and Letters (Review⑨，聞いてみよう⑧) ・ Small Talk (What can we do for the sea turtles?) ・ 文化探検 <ul style="list-style-type: none"> ・ フカボリ！ 	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>
8	<p>■映像や音声を手がかりにして，外国の子供のことやその国の特徴について考えることができる。また，音声やイラストを参考にして物語を読むことができる。</p> <p>Over the Horizon(p.66-p.67)</p> <p>△イラストを見て，ピアンカの好きな場所などについて聞き取ったり，ブラジルについて考えたことを伝え合ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界探検 <p>△音声やイラストを参考に，物語の内容を理解したり，文章を声に出して読んだりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語探検 	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>

後日パフォーマンステストを実施

1 2. 本時の学習

(1) 本時の目標

生き物が暮らす場所について，友達とたずね合うことができる。

(2) 本時の展開

時間 (分)	主な学習活動	教師の支援・評価（*）	
		JTE	ALT
3	<p>1. 挨拶をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本表現を使ってやり取りをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>How are you?</p> <p>What day is it today?</p> <p>What's the date today?</p> <p>How is the weather today?</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や質問をして明るい雰囲気をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挨拶や質問をして明るい雰囲気をつくる。

<p>5</p>	<p>2. Let's Watch</p> <ul style="list-style-type: none"> 映像を見て、生き物の暮らす場所や直面する問題などの伝え方を確認する。 映像に出てきた表現を練習する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Tigers live in forests. Hunting is a big problem. Forest loss is a big problem, too.</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>表現練習</p> </div> <p>3. 本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 会話の内容を捉えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 使われていた表現 (…live in…./…is a big problem.) を意識させる。
<p>2</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>めあて 生き物が暮らす場所をたずね合おう。</p> </div>		
<p>1 5</p>	<p>4. Let's Listen</p> <ul style="list-style-type: none"> ALT とのやりとりを通して、生き物や住んでいるところの語句を確認し、活動の見通しを持つ。 ①の音声を聞いて線を引いた後、答え (giraffe-savanna-hunting) を確認する。 ②の音声を聞いて線を引いた後、答え (gorilla-forest-forest loss) をペアで確認する。 ③の答えを予想して文を考えた後、音声を聞いて答え (coral reef-sea-global warming) を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Coral reefs live in the sea. Coral reefs are in danger. Global warming is a big problem.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 線を引いた後は、文を考えさせる。 絵に合わせて、 <ul style="list-style-type: none"> … live in …. … are in danger. … is a big problem. <p>の3文でまとめ、繰り返して触れさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> スクリプトに出てきた表現について補足する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童とやり取りをする。 Let' try の活動につなげるために、Where do…live?の表現を用いて答えを確認する。
<p>4</p>	<p>5. Let's Chant</p> <p>(Let's save the animals!)</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容を確認しながら視聴する。 リズムに合わせて全員で言わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音しづらい部分を重点的に練習させる。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムに合わせて発音し、児童の発音を促す。

<p>1 4</p>	<p>6. Let' Try</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル会話を聞き, p.61 の Let's Read and Write で書いた生き物の暮らす場所についてたずね合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>J: I like pandas. A: Where do pandas live ? J: Pandas live in forests. (J⇔A)</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  モデル① </div> <ul style="list-style-type: none"> 再度モデル会話を聞き, 考えや気持ちなどを付け加えて, 生き物の暮らす場所についてたずね合う。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  モデル② </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: I like polar bears, but polar bears are in danger. J : Where do polar bears live? A: Polar bears live on the ice. Global warming is a big problem. J: I see. Let's save the polar bears! (J⇔A)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ALT とモデル会話を する。 ペアを変えながら, 繰り返したずね合うようにさせる。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  ペア① </div> <ul style="list-style-type: none"> ALT とモデル会話を する。 * 生き物が暮らす場所についてたずねたり答えたりしている。「話すこと [やり取り]」(行動観察) 記録に残す評価は行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> JTE とモデル会話を する。 児童とコミュニケーションを図りながらやり取りをする。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  ペア② </div> <ul style="list-style-type: none"> JTE とモデル会話を する。 児童とコミュニケーションを図りながらやり取りをする。
<p>2</p>	<p>7. 振り返りをする。</p>		